

下水道施設の耐震設計

Windows® 8

Windows® 7

Windows® Vista™

電子納品対応

ネイティブなWordデータで
計算書を高速出力。PDF出力も
可能なCALS/EC対応ソフト!!

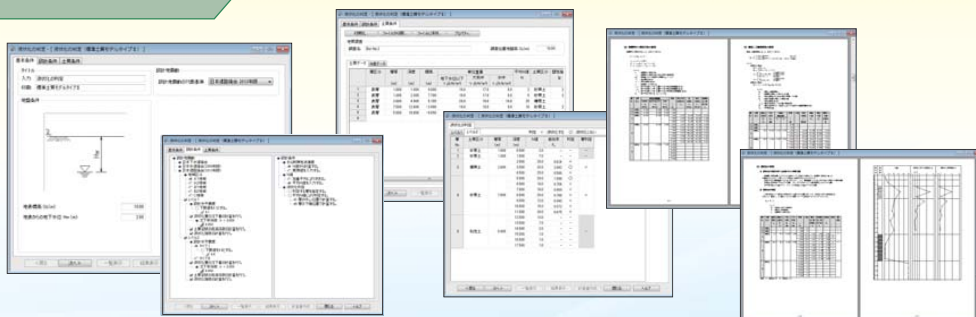
「下水道施設の耐震設計」は、次の基準書を基に【液状化の判定】、【地盤の応答変位の計算】、【円形管きよの耐震設計(オプション)】、【現場打ち人孔の耐震設計(オプション)】、【組立人孔の耐震設計(オプション)】を行うことができるアプリケーションです。

- 「下水道施設の耐震対策指針と解説 2014年版」 (公益社団法人 日本下水道協会)
- 「下水道施設の耐震対策指針と解説 2006年版/1997年版」 (公益社団法人 日本下水道協会)
- 「水道施設耐震工法指針・解説 2009年版」 (公益社団法人 日本水道協会)
- 「水道施設耐震工法指針・解説 1997年版」 (公益社団法人 日本水道協会)
- 「道路橋示方書・同解説 V耐震設計編 平成24年3月」 (公益社団法人 日本道路協会)
- 「下水道施設耐震計算例 一管路施設編— 2001年版」 (公益社団法人 日本下水道協会)
- 「下水道推進工法の指針と解説 2010年版」 (公益社団法人 日本下水道協会)
- 「水道施設耐震工法指針・解説 2009年版 設計事例集」 (公益社団法人 日本水道協会)
- 「共同溝設計指針 昭和61年3月」 (公益社団法人 日本道路協会)



液状化の判定

- 設計地盤が地下水で飽和した砂質土および軟弱な中間土で構成されている場合、その地層の液状化の可能性の有無について判定を行うことが可能です。
- 液状化層と判定された場合の各層の液状化による沈下量を算出することが可能です。
- 液状化に対する抵抗率FLの値に応じた耐震設計上の土質定数の低減係数の算出を行うことが可能です。
- 設計地盤の液状化指数PLを算出することが可能です。



地盤の応答変位

- 入力された地盤条件による「地盤の基本固有周期 T_G 」、「表層地盤の固有周期 T_s 」、「設計応答速度 S_v 」、「応答変位法による水平方向変位振幅 U_h 」のみを単独で算出することが可能です。
- 表層地盤の固有周期は地震時に生じるせん断ひずみの大きさを考慮した係数を用いて算出することが可能です。

